

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

| | | | | |
|------|----|--------------|----|-------|
| 学校番号 | 77 | 豊田市長 浄水北小 学校 | 代表 | 岩月由紀子 |
|------|----|--------------|----|-------|

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

| テーマ | 地域への誇りと愛着をもつ児童の育成 | 分野 | b | 地域連携 |
|---------------|---|----------------|---|------|
| サブテーマ | — 地域とつながる活動を通して — | (その他)は分野を右欄に記入 | | |
| 学校づくりの視点(ねらい) | <p>本校は、地域共働型学校として生まれて以来、地域ぐるみの教育を推進してきた。地域の力を生かし、地域に学ぶことにより、「ふるさと浄水」に誇りと愛着をもち、自ら行動する児童を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながる活動を通して、「この学校に通ってよかった」「この地域に住んでよかった」という思いを深める。 ・地域の自然、文化、歴史、環境を学ぶ学習を展開し、地域よさに気づき、地域への愛着を醸成する。 ・地域の人と交流・協働することを通して、感謝の気持ちをもって接し、その思いを表せる児童を育てる。 ・調べたことや学んだことをまとめ、発表・発信する活動を通して、表現力や情報発信力を育てる。 ・児童が安心して落ち着いた学校生活を送れるように、環境整備と安全管理を徹底する。 ・全校での交流活動を通して、異学年の仲間と協力し合い、地域活動にも主体的に取り組む姿を育てる。 ・浄水小・浄水中と連携することを通して、より多様な考えに触れたり、学習を深めたりして、同じ地域の仲間として協力しようという意識を高める。 | | | |
| 活動内容・計画 | <p>①授業における地域活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に総合的な学習の時間や生活科において、地域の自然、文化、歴史、環境を題材にした授業を展開する。 ・地域の方を講師に招き、実体験に基づいた学びを深める。 ・読み聞かせやクラブ活動、学年行事などに、地域学校共働本部と連携した外部講師や見守りボランティアを活用する。 <p>②自然環境に学ぶ体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節を体感する活動を計画的に実施する。 ・「まごころの森」の整備活動に参加し、自然との関わりを通して環境への理解を深める。 ・伊保川に生息する生き物の観察や調査を行い、地域の自然環境について学ぶ。 ・学校畑で野菜を栽培、収穫する活動を通して、食や環境について学ぶ。 <p>③全校での交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班(わくわく)活動を通して、異学年の児童が協力し合い、仲間づくりを進める。 ・児童集会を企画委員会の運営で行い、各委員会や学年、学級の連絡の場として一体感を高める。 ・有志による活動(ヒーローズ)を支援し、児童の自主性や創造性を育てる。 <p>④メディアセンター・ICTの積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館やICT機器を積極的に活用し、情報収集・整理・まとめる力を育てる。 ・学校図書館司書と連携して、必要な書籍を準備することで効率的に情報収集できるようにする。 <p>⑤学びの発信・表現活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まごころ学習発表会」や公開授業などを開催し、児童の学びを地域に発信する。 ・活動の様子は、随時学校ホームページに公開する。 <p>⑥感謝と交流の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった方に感謝の気持ちを伝える活動(会・手紙・あいさつ)を展開する。 ・地域の人との交流活動を通じて、思いやりや協力の心を育てる。 | | | |
| 補助員配置 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内整備員 ・学校図書館司書 | | | |
| 実績・期待される効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいる地域のよさに気づき、誇りや愛着をもつ児童を育てることができる。 ・地域の人との交流を通して、地域を大切にしたいにふれ、感謝の心やまごころを育むことができる。 ・縦割り班活動や有志による活動などにより、協働性や自主性を高めることができる。 ・調べ活動や発表を通して、情報収集力や表現力を伸ばし、学んだことを地域に還元できる児童を育てることができる。 ・お世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを表したり、進んであいさつができるようになったりすることが期待できる。 | | | |
| 検証方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・まごころ学習発表会や異学年交流等での児童の発信内容、行動を観察・記録し、児童の変容を検証する。 ・保護者アンケートや学校外部評価、教職員自己評価をもとに、活動の成果や課題について意見を得る。 ・安全管理の実施状況を定期的に確認し、安心して活動できる環境が整っているか確認する。 | | | |